

みんなで創ろう
安心した街づくり



発行：内田小学校区小域福祉ネットワーク

発災対策（大地震時）

内田小学校区小域福祉ネットワーク
会長 小出完爾



◎このフローチャート図

高齡独居世帯の安否確認は欠かせません。
私は誰の所へ確認に向かうのか、町会で予め決めてあります。

◎もしもその時に

もしも大地震が発生したら、震度や規模にもよりますが、多分大混乱に遭遇します。

まず、自分の身は自分で守るといふことを前提にしながら、家族の安否が判つたならば、独居高齢世帯、日中高齢世帯への安否確認を行うこととしていきます。

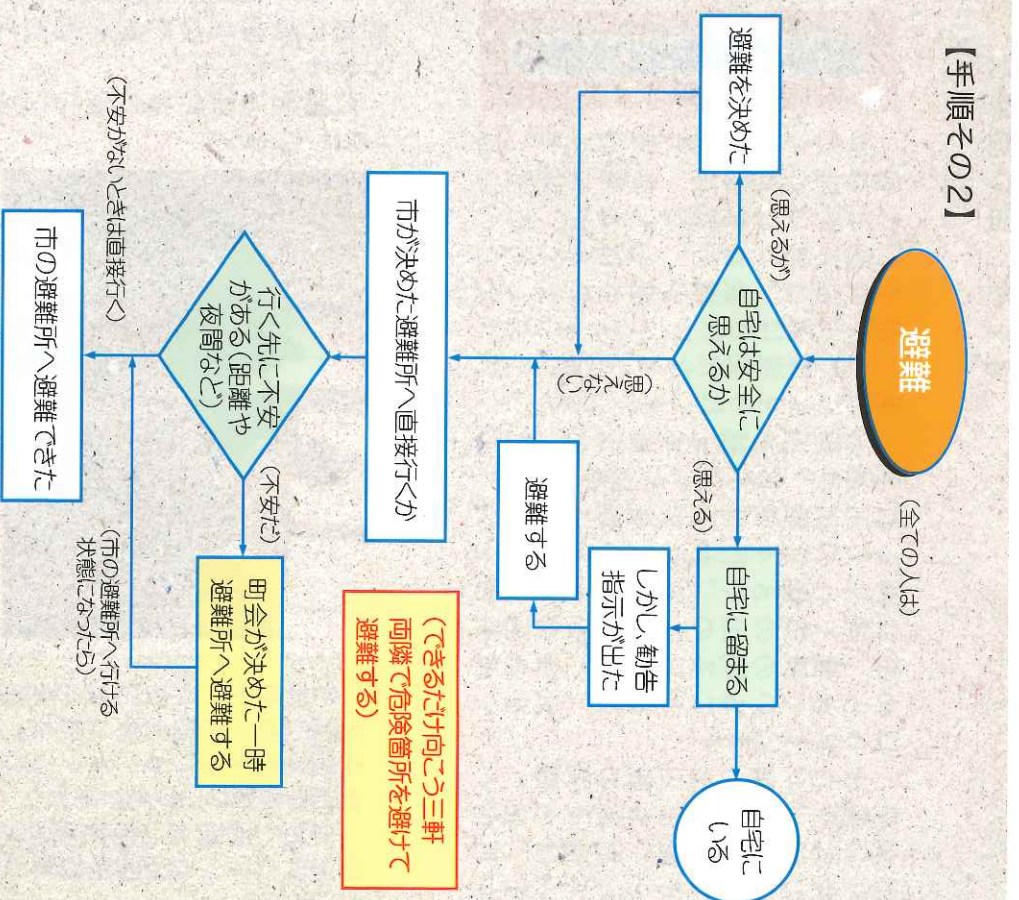
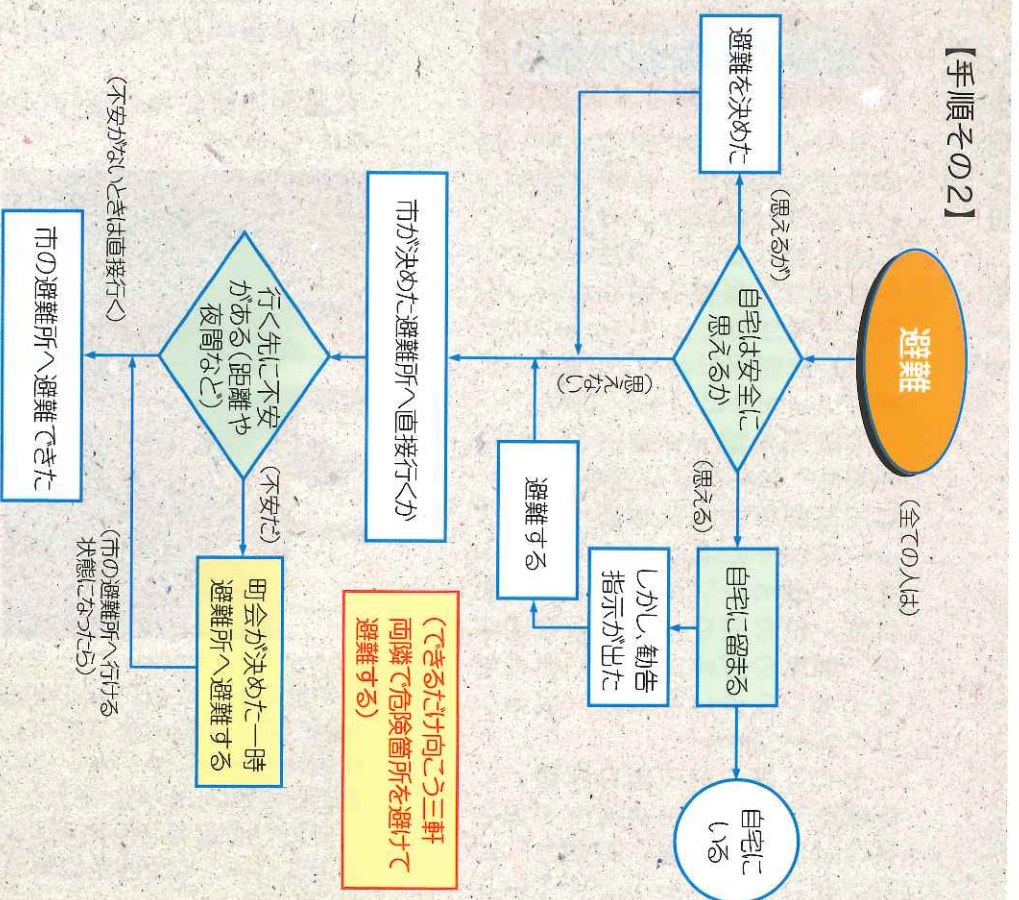
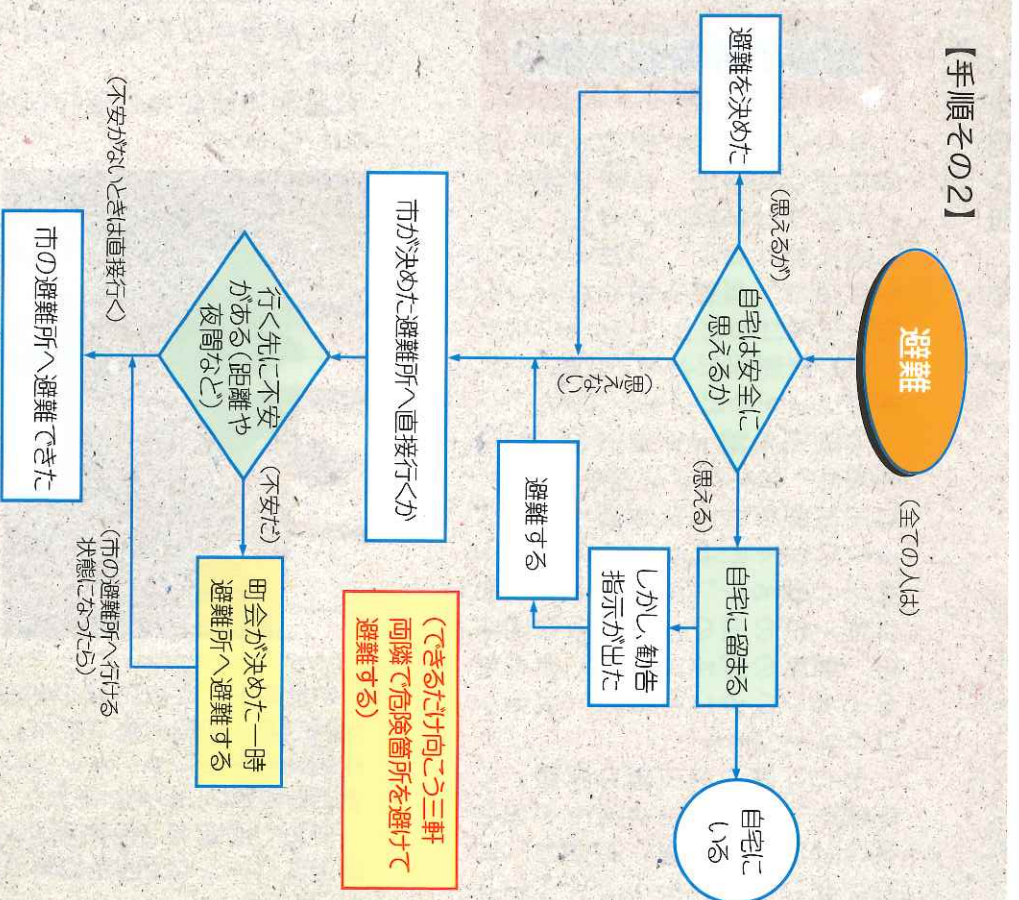
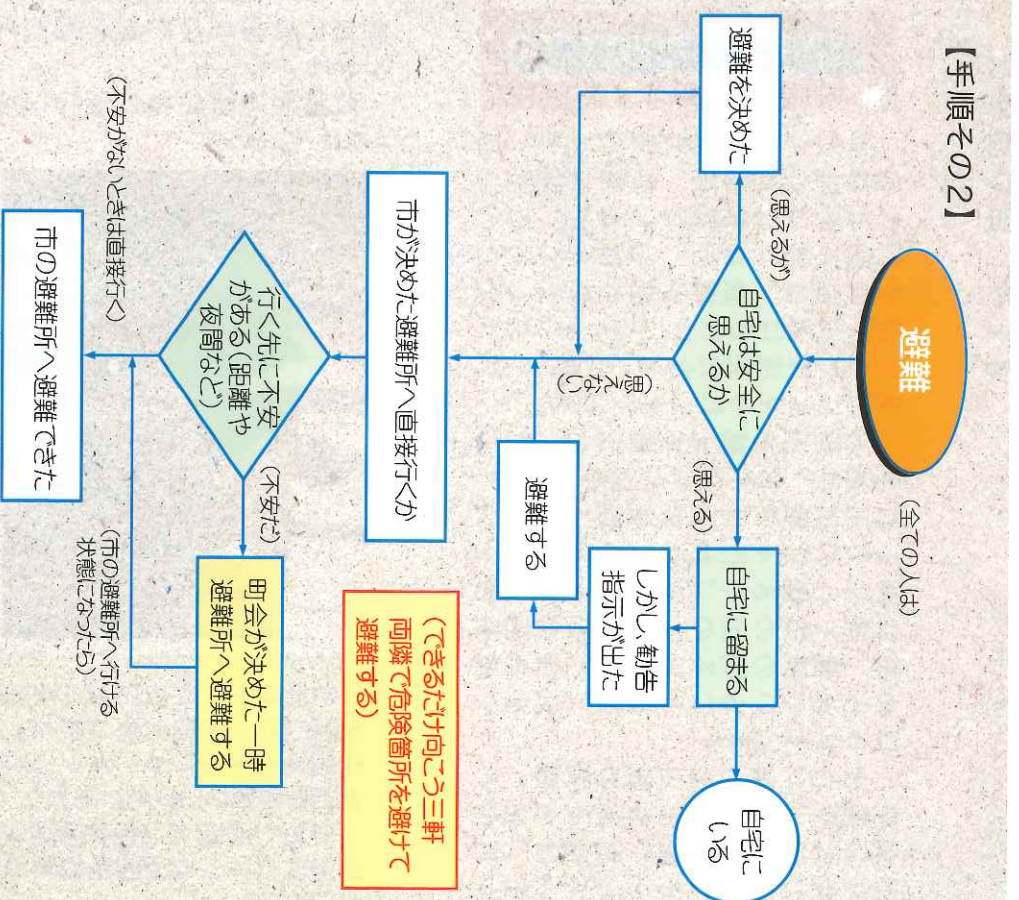
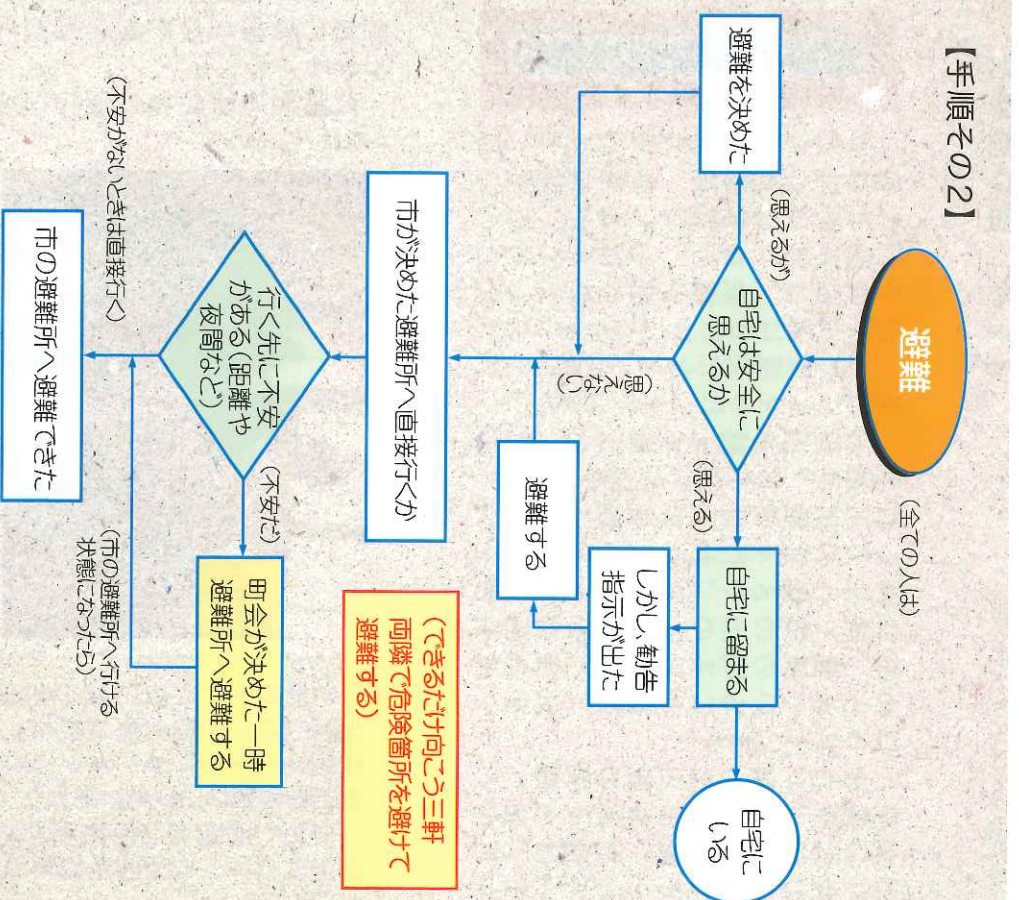
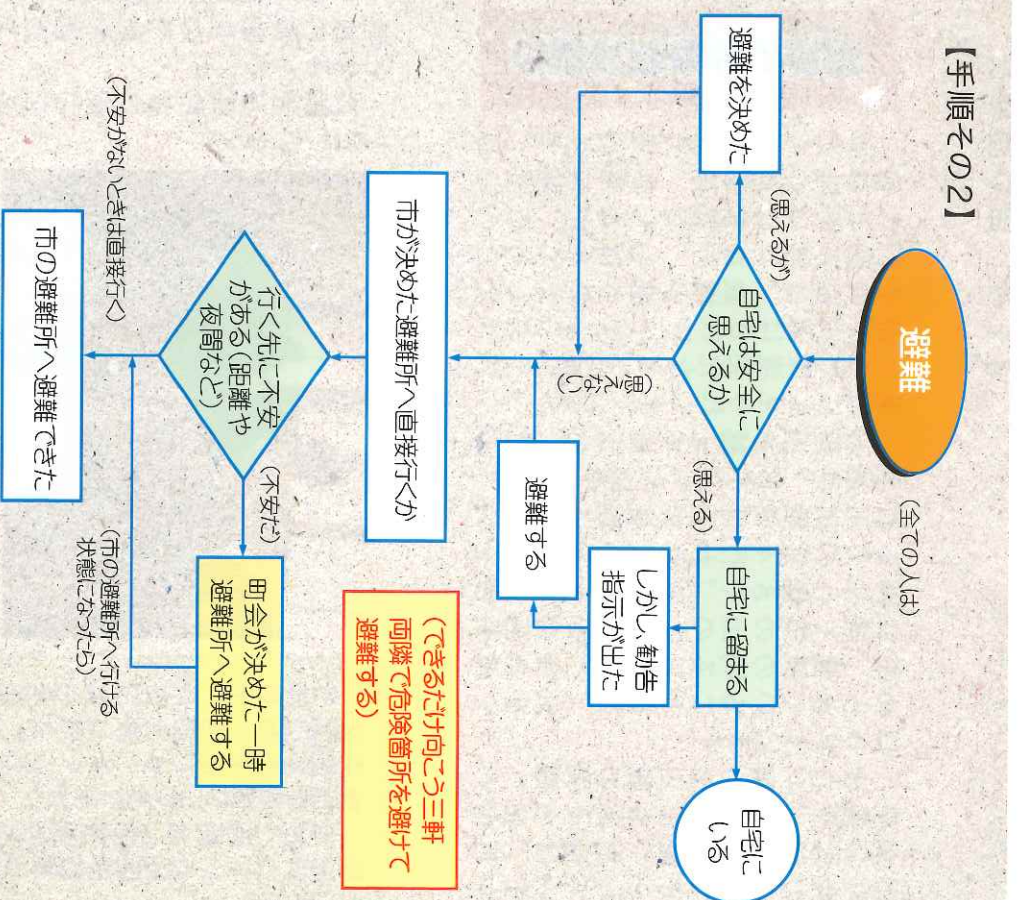
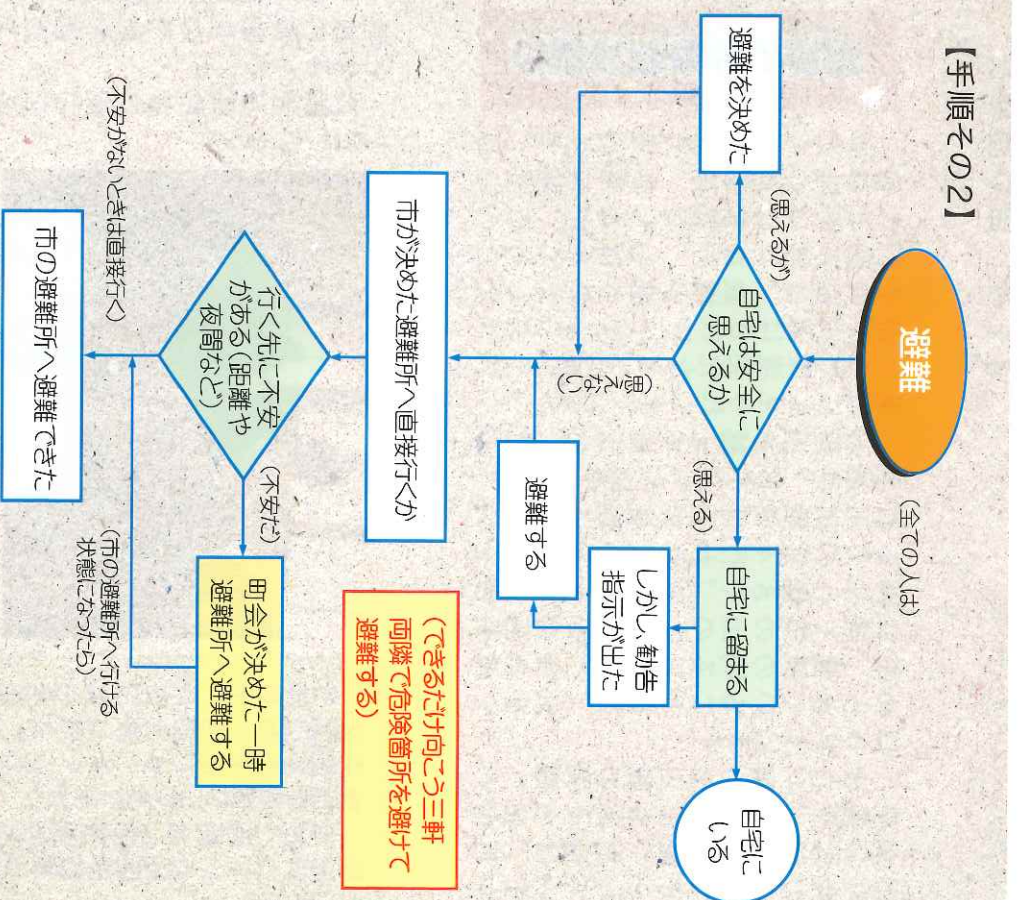
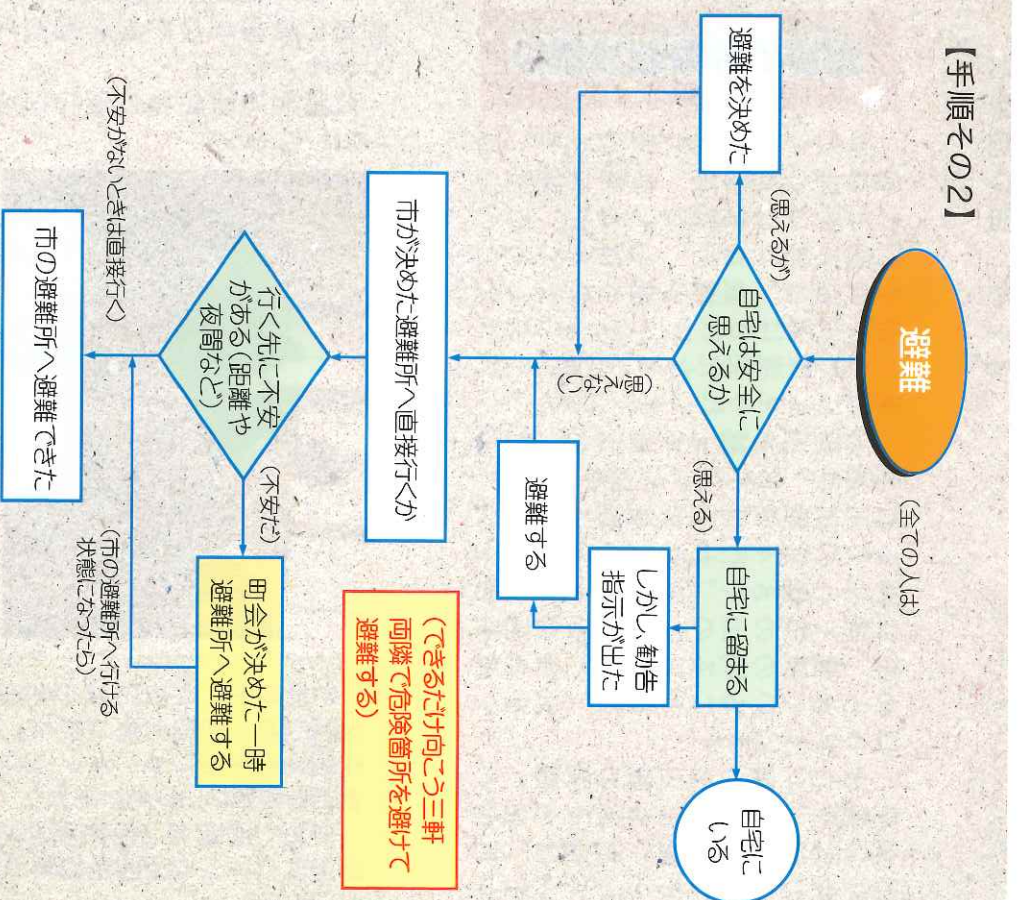
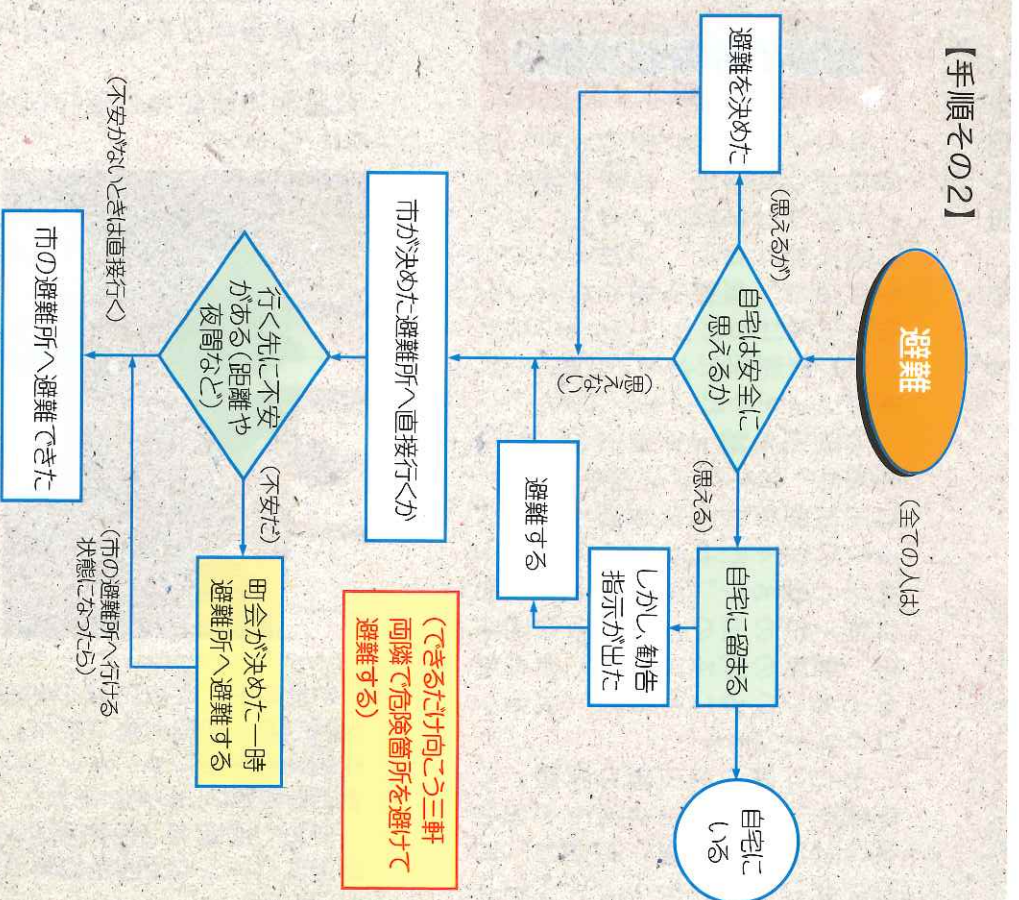
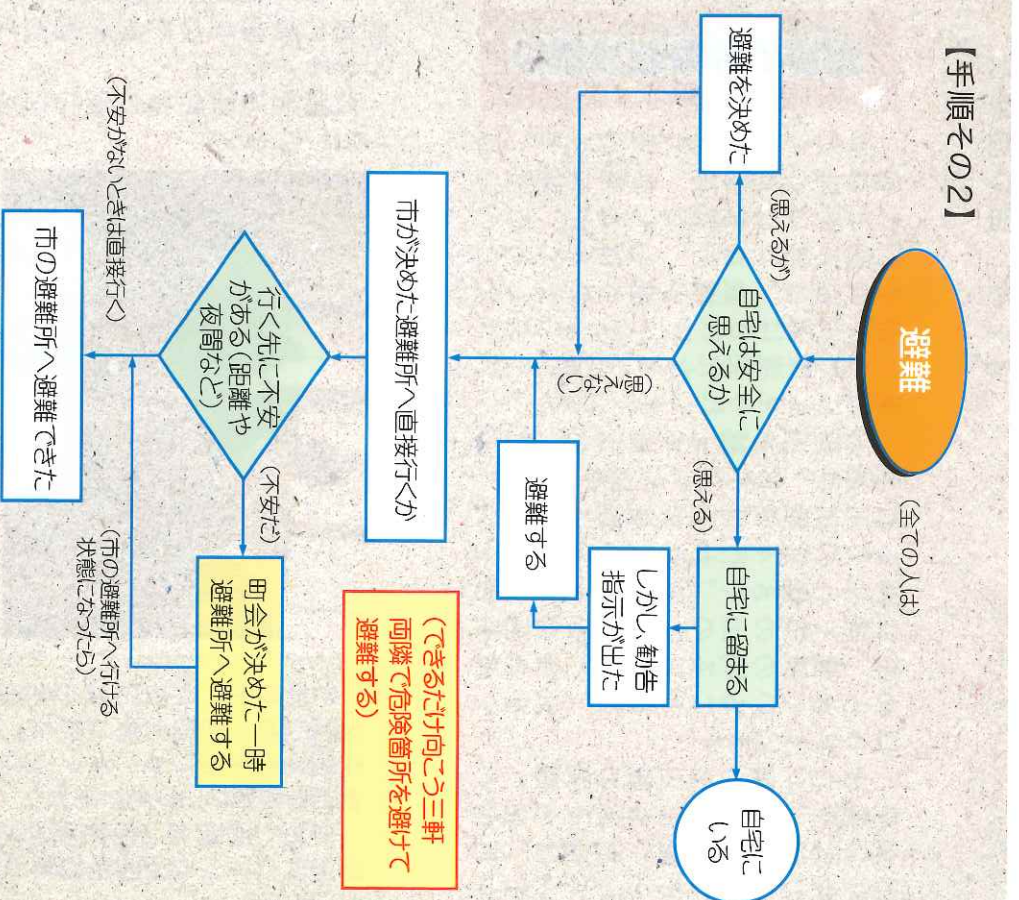
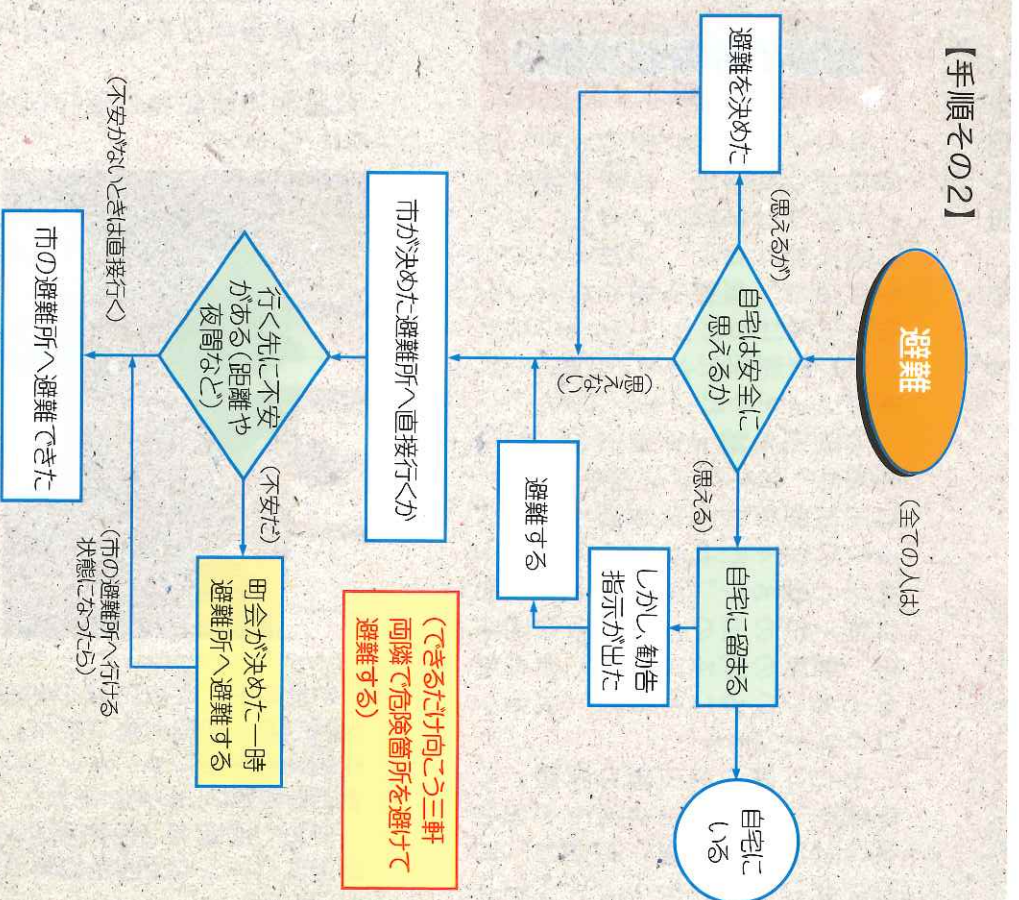
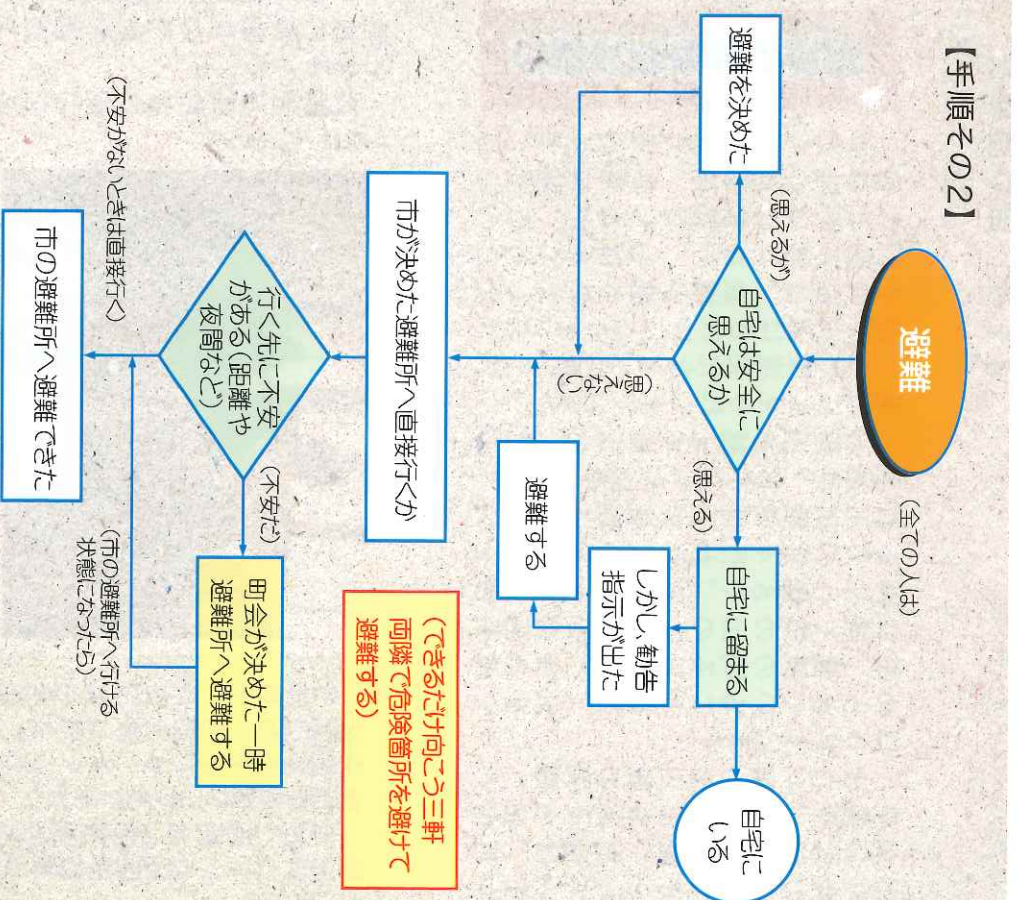
もしも、自分が誰に対して「大丈夫かい」と確認に行くのが判りませんでしたら町会長にたずねて下さい。訪ねる人は決められています。

◎町会長の働き

被災してしまつたら、町会の人々の安否の動向は、町会長が知り確認する立場になります。

「一時避難所（場所）を設けること。取り敢えずの避難場所としてそこに避難する世帯を決め、そして安否確認も行つことなどがあります。」

現在、この体制が整っている町会と、途上の町会があります。明年度中には、全町会が揃うと思えます。この「仕組み」は、発災初



(できるだけ向こう三軒
両隣で危険箇所を避けて
避難する)

動の行動としては、皆様の理解が進めば、他県でも成功している方策です。地域の人々の活動で、自分達を守りましょう。

地域の人々の活動で、自分達を守りましょう。

የህዝብ ጥቅም



今年度も、下校時の見守りを行つてまいりました。

閨氏 彰樣	征矢千歲樣
小出裕美樣	石塚礼子樣
丸山梅子樣	内海敏子樣
三橋 昭樣	上原樣
小出完爾樣	米山 弘樣



下校時見守り

内田地区の皆様にご心より感謝 「志を高く」やさしく かしく たくましく

内田小学校 校長 佐久間 義雄

平成三十年度は内田小学校のテーマを、「志を高く」「やさしく」「かしく」「たくましく」として教育活動に取り組んでまいりました。その一端を紹介いたします。

〈やさしく〉

「挨拶運動」は、南総加茂地区小中学校挨拶運動とも連携して実施しました。各地で「おはようございます」という明るい声が響きました。地域や保護者の皆さまからも温かな声かけをしていただきました。

「校内研修」として全学級担任が研究授業を行いました。授業クリエイト・卵月啓子先生を招いて二年生で提案授業を行っていただきました。また、各学年で研究授業を実施して千葉大学教授寺井正憲先生より指導をいただきました。

「語りのワークショップ」を実施しました。ストーリーテラーの末吉正子さんを講師として語りの実演とワークショップを行いました。子供たちは楽しい雰囲気の中で全身を使って自分を表現することができました。

「アクティブライニンググリッシュ」を実施しました。三人の外国人講師と五年生が一日英語を使つて様々な活動を行いました。

「地域の先生の授業」を実施しました。上総袖風作り。昔の遊び、ザリガニ釣り等で地域の方を先生として子供たちが体験を通して学びを行いました。

「サマースクール」を夏休みに実施しました。地域の元教員の皆様と教職員を講師として算数を中心に学習指導を行いました。

「フューチャーズ学習」では、児童の希望者を募り、教職員が放課後に学習指導する期間を設定して実施しました。

〈たくましく〉

「内田地区大運動会」では、児童が競技や集団演技で練習の成果

を発揮してくれました。また、地域・家庭の皆様の協力や声援が児童の頑張りにつながりました。「諏訪の子相撲大会」では、天候の関係で体育館の土俵で行いましたが、子供たちの力一杯の名勝負が繰り広げられました。

「マラソン納会」では、こつこつと計画的に練習に取り組んで自分の記録を更新する子供たちが多かったです。

「部活動」では、ミニバスケットボール、サッカーク、陸上、音楽に取り組みました。ミニバスケットボール地区大会優勝、サッカーク部の交流試合での勝利、陸上の優秀賞等それぞれの競技や発表で練習の成果を発揮して大活躍しました。

皆様の支えに感謝

一年間を通して、内田小学校区小域福祉ネットワークの皆様をはじめ、地域・家庭・関係機関の皆様には御支援・御協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

子供たちは様々な場面で、皆様からの温かな励ましの言葉を自信と力に変え、力を発揮でき



ザリガニ釣り

ました。どの子も志を高く持つて目標の実現をめざして一人一人確実に成長しました。今後、地域の未来である子供たちの為に内田小学校へ御支援・御協力をいただけますようお願い申し上げます。



あいさつ運動

地域への奉仕は進む

子どもの見守り道のりで、以前は畦の刈草は、歩道に並べることがほぼ常態でしたが、この行動が無くなり、しばらくしたその後は、鉄柵が施されました。この環境美化などへの動きは、里道にも見られて来ています。

石川を越えて富士台に続く里道は、杉木立ちの山中の道で、石川川鉄橋付近で耕作されている方の常々行われている篠竹を刈払う働きや、その道を富士台に続く道の山のような杉の落葉を、強風の明る日には、掃き清められています。

また、宿の桜川縁の美観への整備や、通学路でもある小金台から大蔵団地へ続く里道は、石川町会の人々で守られています

が、小さなことですが、道が歩

き易いよう細かく水切を施しているなどの細かな親切さ。昨年の十二月大晦日の夕方、国道四〇九号線の歩道を、ゴミ拾いされている方もおられました。奉仕の動きは易いようですが、行うことは大変なことです。有難いことと存じます。

皆さんへのお話

今日の高齢社会に対して、高齢者の力で高齢者の老化予防対策を行うことになりました。

国ではこのように進めています。老化予防策を、地域の人々の主に高齢者の働きを当てに高齢者の溜り場として「通いの場」を設けることを求めています。

これは地域の高齢者によって、地域の高齢化の予防を進めようとするものです。

高齢者が高齢者の能力を必要としています。



会食会の様子

今年も十一月三日に「茶話会（会食会）・落語を楽しむ会」を実施する予定です。多くの方の参加をお待ちしております。また、茶話会（お茶飲み会）等を行っている地区はお知らせください。